



令和6年2月定例仙台市社会教育委員の会議 会議録

- 1 開催日 令和6年2月2日(金)
- 2 開会及び
閉会の時刻 午前9時30分開会 10時55分閉会
- 3 開催場所 仙台市役所教育局第1会議室
- 4 出席委員氏名 阿部哲也委員, 安藤直美委員, 石垣恵委員, 泉山靖人委員,
亀井あかね委員, 齋藤愛委員, 高城みさ委員, 内藤良介委員,
中山慎也委員, 野原昌之委員, 朴賢淑委員, 広瀬剛史委員,
松本大委員, 若生彩委員(14名出席)
- 5 事務局職員 柴田生涯学習部長, 武者生涯学習支援センター長,
田村生涯学習課長, 加藤生涯学習課主幹,
三澤生涯学習課企画係長, 古谷生涯学習課生涯学習係長,
菊池生涯学習課施設係長,
生涯学習支援センター事業係 村田主査,
生涯学習課生涯学習係 佐々木主査, 間宮主査
- 6 会議の次第
 - (1) 開会
 - (2) 挨拶 松本委員長
 - (3) 協議事項
 - ① 提言書の最終案について
 - ② その他
 - (4) その他
 - (5) 閉会
- 7 会議の概要
 - (1) 協議事項
 - ① 提言書の最終案について
資料2について委員長から説明があった。その後、提言書の最終案について全体で確認し、意見交換を行った。主な内容については以下のとおり。
 - ・「2(2) プラットホームとネットワークの形成の必要性」と「3(2) ネットワークへの支援(人材育成に関わる「プラットフォーム」の形成)」の項目のタイトルを揃えられるとよい。2(2)に「ネットワークへの支援」を追記し、3(2)と合わせられないか。
 - ・個人名の記載量のバランスを検討してはどうか。
 - ・章や節の付番の仕方を統一してはどうか。
 - ・p.1「はじめに」の課題の二つ目について、人口が微増しているものの少子高齢

化が進んでいることが挙げられているが、もう一つ、新興住宅地等において新たなつながりをつくっていかなくてはいけないという視点もあるのではないかと。大きく修正する必要はないが、そういったことも盛り込めるとよい。

- ・ p. 7の図表1-3「7 社会学級の歩み」について、昭和41年度に父親学級が開設されたのはどこだったかがわかるとよい。
- ・ p. 7下から2行目の「放課後子ども教室推進事業」について、「現在 28 教室」とあるがいつ時点の数字かわかるとよい。
- ・ p. 10「対面形式やオンライン形式を創意工夫で融合させた創発的なプラットフォームづくり」において、都市と地方の対比で書かれているが、東京と仙台の対比なのか、仙台市の中心部と郊外という対比なのか。
- ・ p. 17の1行目、「目線の転換」について、「視点」や「視線」に修正してはどうかという意見があったが、「相手に合わせる」というニュアンスを大事にするため、最終案のとおりとすることとした。
- ・ p. 18等に記載されている社会学級における役職について、開設委員長なのか運営委員長なのか確認する必要がある。
- ・ p. 38「おわりに」の5行目から、主語と述語の関係がわかりづらいと思われるため修正した方がよい。

委員からの修正意見について、正副委員長と事務局とで検討のうえ最終的な調整を行い、内容を確定させることとした。

上記以外で修正意見がある場合は、2月9日（金）を目途に事務局まで連絡することとした。

②その他

今後の予定について、正副委員長と事務局とで最終的な修正を行った後、3月の教育委員会において報告する予定としている旨説明がなされた。

8 その他

- (1) 任期中最後の定例会となるため、各委員から一言ずつ感想等が述べられた。
- (2) 2年間の審議に対し、事務局を代表し生涯学習部長より御礼の言葉が述べられた。

「仙台市社会教育委員の会議実施要領」第4条及び第5条に基づき会議録を作成し、同要領第6条に基づき委員長及び会議録署名人が署名する。

令和 6 年 3 月 25 日

委員長

松本 大

会議録署名人

野原 昌之